



緑陽

令和5年9月25日発行

音更町立緑陽台小学校

学校便り No. 6

ともに学び合い、ともに成長する

秋分の日を過ぎ、ようやく厳しい残暑も落ち着きを見せてきました。10月に入ると、カラッと晴れる日が多くなる一方、朝晩の気温が少しずつ冷え込むようになります。各地の各所から、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザによる学級閉鎖等のニュースも聞こえてきています。ご家庭におかれましては、早寝・早起き・朝ご飯、手洗いの励行など、体調管理に細心の注意をお願いいたします。

さて、本校では、令和2年度の新しい学習指導要領の全面実施を受けて、学習評価の方法を見直し、前期・後期の2期制で観点別評価を行っています。今年度前期の子供の成長につきましては、9月29日(金)に「みどりのめ」でお伝えいたします。

子供の成長を見るとき、私たち大人はつい課題が目につき、指導や注意が多くなってしまいます。そこをぐっとこらえ、子供のよさを見つけて褒め、励まし、可能性を広げられるように接することができたら最高です。是非、お子さんと一緒に「みどりのめ」をご覧になり、お子さんが自分自身を価値ある存在として認めることができるよう、意識してポジティブな言葉がけをしていただきたいと思います。

学校の10月は後期の始まりであり、一年の折り返しです。読書、スポーツ、そして学習…と、何事にもじっくりと取り組むことのできるこの季節、しっかりと先を見据え、目標を持って取り組み、がんばったという充実感を味わうことができるようにしたいものです。

後期も、子供たちの健やかな成長のために、全教職員が一丸となり、全力で取り組んでまいります。これからも、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

10月の行事予定

- 2日(月) 学習発表会の練習開始
- 9日(月) **スポーツの日**
- 11日(水) 学習発表会総練習
- 13日(金) 学習発表会
- 16日(月) 放課後子ども教室
- 17日(火) 町校長会議、町教頭会議
- 18日(水) 2計測、視力検査(1・2年)
- 19日(木) 2計測、視力検査(3・4年)
- 20日(金) 2計測、視力検査(5・6年)、児童会
- 23日(月) 学級経営交流会議(5時間)
- 24日(火) **開校記念日**
- 25日(水) 職員会議
- 27日(金) 児童会総会



学習発表会

これから学校は、学習発表会に向けての準備・練習で慌ただしい日々を過ごすこととなります。学習発表会は文化的行事として教育活動に位置づけられ、子供たちが力を合わせて劇や合唱をつくり上げることで、物事を成し遂げることの大切さや難しさ、素晴らしさを学ぶ場となっています。私たち教職員も、全力で指導・支援していきたいと思っております。

10月13日(金)の発表会当日は、是非、多くの皆さんにお越しいただき、頑張っている子供たちに大きな拍手とご声援をくださいますようお願いいたします。



〔前期〕 学校評価アンケート結果

確かな学力の定着

	児童	保護者	教職員
児童：学校は楽しい	4.3	—	—
「わかりやすい授業」を目指し授業方法を工夫している (児童：授業は楽しく、内容がよく分かる)	4.2	4.2	3.4
子どもたち一人一人の学力を伸ばすために努力している (児童：授業中、よく考えて、意見を発表できている)	3.8	4.1	3.7
宿題や家庭学習への取り組み方の指導を工夫し、習慣化を図っている (児童：宿題や家庭学習をしっかりとやっている)	4.4	4.2	3.6
読み聞かせや朝読書など読書活動の充実に努めている (児童：学校や家で本をよく読んでいる)	3.3	3.8	3.3
地域の人とのふれあいや地域のよさを生かした教育活動に取り組んでいる	—	3.8	3.4

児童は、授業への満足度が高く、家庭学習を頑張っている子も増えた。しかし、学校や家で本を読んでいる子は増えていない。読書活動の充実については、保護者も教職員も評価が低いことから、更なる対策を講じていく。

教職員は、どの項目も4点に届かず低い評価となった。これは、子供たち一人一人の学力を伸ばす努力が足りていない、もっと頑張りたいとの思いからであろう。今後、子供が主体的に学ぶ授業を目指して授業改善を進めるとともに、個に応じた適切な指導・支援の充実を図っていく。また、保護者の評価も低い地域の環境や特性を生かした教育活動の充実も図っていく。



豊かな心の育成

	児童	保護者	教職員
一人一人を大切にしたい学級づくりを進めている (児童：友達や先生と楽しく色々なことに挑戦している)	4.3	4.2	4.0
いじめや問題行動を見逃すことなく適切に指導している (児童：友達を助け仲間外れをせず、仲よく生活している)	4.1	3.8	4.0

楽しく学校生活を送っていると考える児童が多い。しかし、ケンカやもめごとが全くないわけではない。今後も、子供たちの人間関係に目を向け、一人一人を大切にしたい学級経営を進め、適切な生徒指導によるいじめや問題行動の未然防止に努めていく。



健やかな体の育成

	児童	保護者	教職員
体育の授業や遊びを工夫し、子どもたちの体力向上に取り組んでいる (児童：体育や休み時間に進んで体を動かしている)	4.2	4.2	2.9
望ましい食習慣・生活習慣、健康についての指導を積極的に進めている (児童：早ね・早起き・朝ご飯に気をつけて生活している)	3.8	4.1	3.8
安全教育や安全指導を進め、子どもたちに自他の生命を守る判断力と実践的な態度を育てる努力をしている (児童：きまりを守り自他の安全に気をつけて生活している)	4.2	4.1	3.8
教室や施設設備の整備・整理整頓を進め、安全・安心な教育環境づくりに努めている	—	4.0	4.5

体力向上への取組については、教職員の評価が非常に低くなった。これは、子供たちの体力低下を案じ、もっと運動の日常化や体育授業の改善・充実を努めたいとの思いからであろう。引き続き、運動に意欲的に取り組める環境を整え、しっかりと体力づくりに取り組んでいく。

基本的生活習慣の定着については、児童と教職員が低い評価となった。今後、命を守る指導と併せて、健康・安全指導の徹底を図っていく。



信頼され開かれた学校づくり

	児童	保護者	教職員
お便りや通信などを通じて教育活動の様子を積極的に伝えようとしている	—	4.4	4.1
子どもの様子を気軽に話し合える機会や雰囲気がある	—	3.8	3.8

保護者も教職員も、子どもの様子を気軽に話し合える機会がもっと増え、双方向の情報共有ができるようになることを望んでいる。今後、さらに工夫し、気軽に話したり相談したりできるような学校づくりに努めていく。